



# 宮城県東部保健福祉事務所 (宮城県石巻保健所) 復興支援ニュース Vol.9



平成24年 4月

## 石綿(アスベスト)含有廃棄物回収作業を実施しました

復興に向けて被災建築物等の解体工事が本格化する中で、石綿（アスベスト）の飛散による周辺環境への影響や健康被害の発生を防止するため、3月15日に石巻保健所と(社)宮城県産業廃棄物協会石巻支部、(社)宮城県建設業協会石巻支部、石巻市及び市委託解体業者が連携し、石巻市の沿岸部（川口町地区、松並地区、魚町地区）で第2回目の石綿含有廃棄物等の回収作業を実施しました。この回収作業は事前に当所が地域内の解体現場などに石綿含有廃棄物の放置がないかどうかパトロールを実施した結果をもとに実施したもので、当日は53名が参加し、成形板やスレートなどの石綿含有廃棄物等（約5.5トン）を回収しました。石巻保健所では今後も関係機関と連携し、地域のアスベスト対策を行っていきます。

【回収作業の様子】



【回収された石綿含有廃棄物】



### ◆石巻保健所のアスベスト対策に関する取り組み◆

- ①解体現場等で作業員への防じんマスク着用指導（平成23年4月～）
- ②管内市町へ被災建築物の適正解体指導（平成23年10月～）
- ③アスベストパトロール（平成23年10月～）
- ④石綿含有廃棄物回収作業（平成23年12月、平成24年3月）
- ⑤石綿予防講習会開催（平成24年2月10日）



## 医療安全対策研修会を開催しました



3月8日、石巻地区地域医療対策委員会（事務局：石巻保健所）では石巻市医師会、桃生郡医師会、石巻歯科医師会、石巻薬剤師会と共催で、石巻管内の医療機関や福祉施設の従事者等、行政機関の担当者を対象に医療安全対策研修会を開催しました。研修会には約140名が参加。震災で多くの命を失い、心を痛めている被災者が多くいる中で、医療におけるグリーフケアの重要性について仙台市立病院救命救急部医長の滑川医師より講話をいただきました。

講話では、大切な人を亡くされた方にどう関わるか基本的な心構え等を学びました。また、滑川医師はケアする人のケアが大事とも話されました。



【研修会の様子】

## 聴き上手ボランティア活動紹介

3月23日、女川町清水地区の仮設住宅集會場で『お茶っこ会』が開催され、周辺地区の住民など約30名が参加しました。お茶っこ会では女川町が昨年8月から実施した聴き上手ボランティア養成研修会に参加された町内の方々が主体となって踊りや紙芝居などを行い、参加者は他の参加者らとの会話を楽しむなどして過ごしました。養成研修会の講師である国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター長の**大野裕氏**からは、「引きこもりやうつ状態になると体調を崩しやすくもなるので、住民同士で声がけしたり、適度な運動をすることが大切」と話がありました。



【お茶っこ会の様子】

## 石巻市サポートセンター開所

石巻市社会福祉協議会では昨年9月から石巻市の委託を受け、仮設住宅の入居者支援として「応急仮設住宅管理運営業務」事業を行ってきました。今回、中央共同募金会からの助成で『石巻市ささえあい総括センター』（石巻市不動町）が完成し、3月27日、同センターの開所式が行われました。今後の仮設住宅入居者支援などの総合拠点として利用されます。

### 【開所式の様子】



## 応援職員紹介

東部保健福祉事務所では、震災以降多くの自治体の方々に応援をいただけてきました。今年度最後の応援職員として東京都から応援をいただいておりますので、ご紹介します。



### 東京都福祉保健局保健政策部 石川貴敏さん（医師）

昨年5月から交代制で行っていた、東京都公衛生医師派遣は今月でひとまず終了となりますが、これからも形をかえてお手伝いをさせていただきたいと思っております。災害支援という名目で受け入れていただきましたが学ぶことが多く、どちらかといえば、得るばかりで与えることが少なかったようにも感じています。今回顔見知りになったのも何かの縁と思っております。いろいろご迷惑をおかけしたことや至らなかったことについてはお詫び申し上げます、今後ともかわらぬお付き合いをお願いいたします。



## みやぎ心のケアセンター石巻地域センター開設

宮城県では、震災による被災者の心的外傷後ストレス障害（PTSD）、うつ病、アルコール依存、自殺等様々な心の問題に対する対応や支援を行うため、『みやぎ心のケアセンター』を設置しています。平成24年4月からは、石巻合同庁舎内に石巻地域センターを開設し、精神科医（非常勤）、保健師、精神保健福祉士、心理士などのスタッフを置いて、地域に根差した直接支援を展開していく予定になっています。



## 3.11 東日本大震災追悼式

平成24年3月11日、東日本大震災から1年を迎えました。石巻地域（石巻市、東松島市、女川町）では約5,600人の死者・行方不明者が出ました。各市町では犠牲者の追悼式が開催され、地震が発生した午後2時46分に参列者による黙祷が行われました。石巻市の追悼式に参列した村井県知事は、『震災によりかけがえない命が奪われたことは誠に哀惜痛恨の極みである。世界各国から支援と励ましがあがり、復興のあゆみを進めてきたが、未曾有の大災害による爪痕は依然として大きく、早期に生活再建を果たすことができるよう、今後とも取り組みを一段と加速していかなければならない。犠牲者の方々の思いを心に刻み、ふるさと宮城を次の世代に引き継ぐだけ、県民とともに復興に邁進することを誓う』と追悼の辞を述べられました。

この日、宮城県でも県内3か所（県庁・大河原合同庁舎・大崎合同庁舎）に献花台と記帳所を設置し、地震発生時刻に黙祷を捧げました。



【石巻市の追悼式の様子】



【宮城県庁内の献花台様子】

### 問い合わせ先

宮城県東部保健福祉事務所  
企画総務班 企画調整グループ  
HP: <http://www.pref.miyagi.jp/et-hc/>  
Tel: 0225-95-1416(代表)  
Fax: 0225-94-8982



### 編集後記

東部保健福祉事務所（石巻保健所）では、東日本大震災発生後1年間の活動を1冊の記録集「石巻からの活動報告 一東日本大震災から1年の軌跡一」にまとめました。我々がそれら対応の中で学んだ経験、教訓を生かし、今後も地域のために、全力で取り組んで参ります。この記録集については、今後、事務所HPでも公開する予定になっていますので、どうぞご覧ください。